＊＊２０２０年　６月(第５版)
＊２０１９年１２月(第４版)

機械器具１　手術台及び治療台
一般医療機器　婦人科用診療・処置台（３６０６５０００）

届出番号：27B1X00042000066

産婦人科検診台　ＤＧ－７３００（固定タイプ）

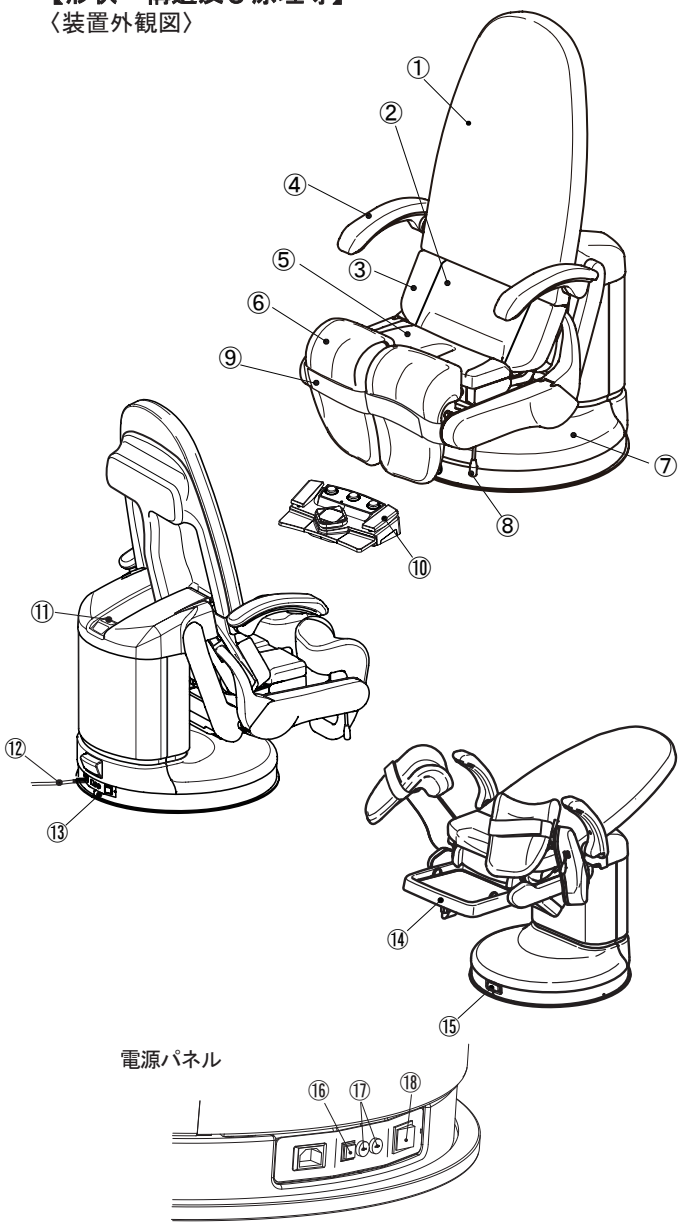
【警告】

１）診療、処置を行う前に必ず患者の問診を行い、股関節に疾患がないかの確認を行うこと。
［股受けが自動的に開脚を行いますので、患者に危害を及ぼすおそれがあります。］

２）患者および使用者の手・指・身体・衣服の一部を機器の可動部や可動部の周辺に近寄らせないこと。
［挟み込みによる怪我の防止］

【形状・構造及び原理等】

〈装置外観図〉



①背モタレ　②シートカバー　③シート
④テスリ　⑤補助シート　⑥股受け
⑦ベースカバー　⑧股受レバー　⑨股受けバンド
⑩フットスイッチ　⑪設定高さ切替スイッチ　⑫電源コード
⑬電源パネル　⑭汚水トレイ
⑮赤外線受光部　⑯プリセット高さ設定スイッチ
⑰ヒューズホルダー　⑱電源スイッチ

(1) 本体寸法・・W740mm×L1340mm×H1320mm
(2) 質量・・210kg
(3) 電気定格・・AC100V 900/1000VA 50/60Hz
(4) 動作原理・・電動油圧式

〈性能〉

(1)初高・・・・・・・・・・・・450 ± 10mm
(2)検診高さ(シート面)・・750 ～ 1030 ±10mm
(3)検診時シート角度・・・・シート角度: 0 $^{+2°}_{0°}$
(4)検診時シート角度下限 -10 ±2°
(5)本体昇降・・・・・・・・・・・・【電動油圧式】
昇降ストローク：280±10mm
(6)本体チルト角度・・・・・・【電動油圧式】:77～0±2°
(背モタレフレーム)
(7)補助シート収納・・・・・・【電動油圧式】
(8)股受け最大開脚幅・・・・380 ±20mm
股受内寸法　【電動油圧式】　(任意設定可)
(9)汚水トレイ昇降機構・・【電動油圧式】 上／下 2ポジション
(10)プリセット操作 P・・・・本体チルト上昇・本体上昇
→補助シート収納・汚水トレイ上昇・股受開脚
(11)オートリターン操作 R・・ 汚水トレイ下降・補助シート出→股受閉脚
→本体下降・本体チルト下降
(12)ﾌﾗｯﾄﾎﾟｼﾞｼｮﾝ操作 ・・・・・・ 股受閉脚・チルト水平・補助シート水平
(13)股受け屈曲機構 ・・・・・【ガスシリンダー式】ベッド状態に
(14)ﾌｯﾄｽｲｯﾁ電源 ・・・・ DC6V(乾電池)
＊(15)作動時間・・・ 非連続作動
最大作動時間3分
デューティサイクル1:5
(16)電撃に対する保護形式・・クラスⅠ　B形装着部

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。（但し、結露しないこと）
温度…10℃～40℃
湿度…10%～90%
＊ 気圧…700hPa～1060hPa

取扱説明書を必ずご参照ください。

1E064YE0

【使用目的又は効果】

本製品は、婦人科領域の診療および処置時に、女性の体位を適切な位置に支持するために用いる調節可能な診療、処置台です。

【使用方法等】

〈設置方法〉

・本製品は、必ず平らで丈夫な床の上に設置すること。
床面が5°以上傾いている場所へ設置すると本製品が転倒するおそれがあります。（取扱説明書の「設置」の頁を参照のこと。）

〈使用方法〉

①機器用インレットに機器用コネクターを差し込み、 電源プラグをアース端子付コンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。
②本製品の操作はフットスイッチで行います。
③診療・処置終了後は電源スイッチを切り、電源プラグをアース端子付コンセントから抜いてください。

本製品の詳細な操作方法及び使用方法については付属の取扱説明書「操作方法」の頁を必ず読むこと。

＊＊【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1）機器周辺に、患者以外（特に子供）を近づけないこと。
やむを得ず、患者以外を近づける場合、機器の操作中は、患者以外の安全にも考慮すること。[挟み込みによる怪我の防止]

2）本製品は出荷時に消毒・滅菌などがされていないので、使用前に清拭作業を行なうこと。

3）人体質量135kgより大きな人、及び同時に複数の人を乗せないこと。

4）薬液等が樹脂や金属塗装面に付着した場合、樹脂が変質したり、塗装が剝れ、内部金属が腐食するおそれがあるので、速やかに清拭してください。

＊＊ 5）他の医用電気機器と併用する場合、電磁的影響による不正確な動作が発生することがないか使用前に確認すること。

6）検診ポジションへの移行のプリセット操作（後傾）は、必ず患者の足が股受けの上にのっていることを確認してから行うこと。

7）オートリターン操作は、必ず患者の足が股受けの上にのっていることを確認してから行うこと。

8）オートリターン操作が完全に終わるまで（10°の本体チルト下降）、患者が本製品より降りないように注意を払うこと。

9）汚水トレイの上下操作、およびプリセット操作時に汚水トレイが動いている際は、絶対に汚水トレイの上方に手を入れないこと。

10）股受けの開閉操作、およびオートリターン操作、フラットポジション操作を行う際は、患者の手の位置がテスリ、またはお腹の上にあることを確認して操作を行うこと。

11）フラットポジションでの診療、処置を終えて、股受けを手動で屈曲させる際は、ロック解除レバーを解除した後、必ず患者の足を支えるようにして下腿受けを持ち上げて屈曲操作を行うこと。

12）フラットポジションの状態で股受け部に腰をかけるなどして、体重をかけないこと。

13）患者の乗り降りは、非常の際以外は必ずオートリターン位置で行うこと。[患者の落下や、本製品の転倒及び損傷のおそれがあります。]もし止むをえず非常時オートリターン位置以外で患者を下ろす際には、患者の落下や、本製品の転倒及び損傷に十分注意すること。[特に背モタレの先端に手をつくなどして荷重がかかった場合、本体が後方に傾いて、患者がバランスを失い、落ちるなどのけがをするおそれがあります。]

14）検診高さ（プリセット高さ）の設定時、およびプリセット操作、オートリターン操作を行うときはフットスイッチを本製品の作動範囲外の検診ゾーンに置いて設定、操作を行ってください。作動範囲内にあると、作動中に患者に触れて不用意に動いてけがをしたり、本製品に当り、物損事故の原因になります。

15）プリセット操作およびオートリターン操作、閉脚検診位置操作、フラットポジション操作時は患者から目を離さないこと。作動中に患者の手および足が機器の可動部や可動部の周辺に近づいた場合は、フットスイッチのいずれかのペダルおよびスイッチを踏んで即座に機器の作動を停止させること。挟み込んでしまうとけがをするおそれがあります。

16）プリセット操作、オートリターン操作および閉脚検診位置操作、フラットポジション操作を途中で止めたいときは、フットスイッチのいずれかのペダルおよびスイッチを踏むこと。踏んだ位置で作動が停止します。作動を再開するにはいったんすべてのペダルおよびスイッチを離した後、再びいずれかのフットスイッチを操作してください。

17）麻酔をかけているときは、シートヒーターを使用しないこと。また、長時間（10分以上）の使用は避けること。
［低温やけどをおこすおそれがあります。］

18）ロールシーツの交換は必ず電源スイッチを切ってから行うこと。

19）補助シートのロールシーツの交換後は補助シートの蓋を閉じ、ロックがかかり蓋が開かないことを確認して本製品の操作を行うこと。

20）本製品を作動させるときは、患者が正しい位置に座っていることを確認し患者の股を股受けバンドで保持し、作動中は患者から目を離さないでください。

＊【保管方法及び有効期間等】

〈耐用期間〉

・本製品の耐用期間は10年間です。[自己認証（当社データによる]
・背モタレ、シート、股受けなどのクッション類およびスイッチ類は使用環境により異なります。

＊【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項（日常点検）〉

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ず読むこと。

点 検 頻 度	点 検 内 容
始業前	設置状態の確認
	電源スイッチの確認
	フットスイッチ操作での作動確認
	電源スイッチを入れてピー・ピー・ピー・と断続的な警告音が鳴らないかの確認
	本体昇降機構からの異臭の確認
	上部本体が検診ポジションの位置で一定時間停止しているかの確認
	オイル漏れの確認
	シートヒーター（アクセサリー）が熱くなるかの確認
しばらく使用しなかった機器	使用前に清掃を行い、清拭作業を行う。
	機器が正常に、且つ安全に作動することを確認する。

〈業者による保守点検事項〉

定期点検は当社または当社の指定する業者に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラベルモント株式会社

TEL：06-6212-3620

販売業者

取扱説明書を必ずご参照ください。